

2-14 臨床検査科、病理検体受け取り担当者様

○迅速の戻し検体の提出について

- ・ 迅速標本作製後、微小となった検体がある場合は、その旨を依頼書にご記載ください。

- ・ 「Gef 戻し」 = 実際に凍結標本作製した検体。

標本作製後、ホルマリン液中で溶かし、固定した検体。

- ・ 「Gef 残し」 = 迅速標本作製時に、凍結標本にはせず、残した検体。

肺本体や、リンパ節のトリミング残（脂肪組織）など。

- ・ ラベルや患者情報の記載のない検体が提出される場合があります。

すべての検体にラベルが貼られていることをご確認ください。

- ・ 臨床にて貼り付けされた検体ラベルが判読困難な場合があります。

検体発送前に確認をお願いいたします。

- ・ **依頼書の作成については、臨床診断名、検体数・容器数、手術検体の場合はシェーマの記載を必須項目としてお願いしています。**

当施設へ発送前に、依頼書の必須項目の記載をご確認ください。

足りない情報がある場合には、提出医へ記載をお願いしていただきますよう、ご協力ください。

- ・ 検体提出や固定処理の方法に関しては、お気軽に病理診断科クリニックまでお問い合わせください。